

令和元年7月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,599,049</b>	<b>184,634</b>	<b>764,394</b>	<b>29.4%</b>	<b>1,834,655</b>		
1. 営業収益	2,258,690	180,703	747,829	33.1%	1,510,861		
1. 給水収益	2,229,440	179,981	745,371	33.4%	1,484,069		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	722	2,459	8.4%	26,791		
2. 営業外収益	340,220	3,930	16,564	4.9%	323,656		
3. 特別利益	139				139		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,690,541</b>	<b>96,772</b>	<b>292,944</b>	<b>10.9%</b>	<b>2,397,597</b>	<b>697,442</b>	<b>25.9%</b>
1. 営業費用	2,469,885	96,771	292,763	11.9%	2,177,122	697,261	28.2%
1. 原水及び浄水費	505,430	31,601	106,241	21.0%	399,189	294,172	58.2%
2. 配水費	374,300	33,983	83,016	22.2%	291,284	162,225	43.3%
3. 給水費	112,081	11,540	27,097	24.2%	84,984	42,546	38.0%
4. 受託工事費							
5. 業務費	164,244	12,863	40,784	24.8%	123,460	151,272	92.1%
6. 総係費	123,993	6,784	35,625	28.7%	88,368	47,046	37.9%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969				199,969		
3. 特別損失	687	1	181	26.3%	506	181	26.3%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,087,479</b>	<b>13,139</b>	<b>18,641</b>	<b>1.7%</b>	<b>1,068,838</b>		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866	12,167	14,105	17.4%	66,761		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	108,404				108,404		
5. 加入金	9,376	972	4,536	48.4%	4,840		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>2,525,302</b>	<b>7,076</b>	<b>57,787</b>	<b>2.3%</b>	<b>2,467,515</b>	<b>241,130</b>	<b>9.5%</b>
1. 建設改良費	1,522,429	7,076	57,787	3.8%	1,464,642	241,130	15.8%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059		
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721				105,721	1,530	1.4%
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,346,294	7,076	57,787	4.3%	1,288,507	239,600	17.8%
6. 管理施設整備費	2,055				2,055		
7. 消防設備整備費	2,300				2,300		
2. 企業債償還金	702,873				702,873		
3. 長期貸付金	300,000						
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,968</b>	<b>2,374</b>	<b>7,032</b>	<b>14.7%</b>	<b>40,936</b>	<b>7,032</b>	<b>14.7%</b>
①有収水量	7,779,100	621,730	2,590,141	33.3%	5,188,959		
②供給単価	286.59	289.48	287.77	100.4%	△ 1.18		
③給水原価	345.78	155.65	113.03	32.7%	232.75		
<b>人件費</b>	<b>237,115</b>	<b>13,252</b>	<b>72,226</b>	<b>30.5%</b>	<b>164,889</b>		
1. 収益の収支	193,023	10,657	56,189	29.1%	136,834		
1. 職員給与費	192,901	10,657	56,189	29.1%	136,712		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	44,092	2,596	16,037	36.4%	28,055		
* 職員給与費	236,993	13,252	72,226	30.5%	164,767		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	5.9%	7.5%				
2. 全職員	10.6%	7.4%	9.7%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>46,693,251</b>	<b>46,747,939</b>	<b>54,688</b>	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,130,168</b>	<b>3,386,466</b>	<b>256,298</b>	
1. 現金預金	2,628,502	3,085,628	△ 457,126	
2. 未収金	450,396	230,708	△ 219,687	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	33,301	△ 1,145	
5. 前払費用・前払金	16,824	16,464	△ 361	・工事前払金等
6. その他		20,365	20,365	・仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>276,198</b>	<b>276,198</b>	
1. 営業費用		276,031	276,031	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		168	168	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,369,479</b>	<b>587,184</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,719,131</b>	<b>11,719,131</b>		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
<b>F. 流動負債</b>	<b>929,242</b>	<b>790,147</b>	<b>△ 139,095</b>	
1. 企業債	697,683	697,683		・償還元金
2. 未払金	216,415	33,459	△ 182,957	
3. 前受金	26	42	16	
4. 引当金	14,621		△ 14,621	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	58,963	58,467	
うち仮受消費税		56,756	56,756	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>10,236,815</b>	<b>10,255,121</b>	<b>18,305</b>	
1. 長期前受金	10,236,815	10,255,121	18,305	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* 〃 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,683,621</b>	<b>10,683,621</b>		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>237,472</b>	<b>237,472</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>707,974</b>	<b>707,974</b>	
1. 営業収益		692,617	692,617	
2. 営業外収益		15,357	15,357	
3. 特別利益		0	0	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>53,782,295</b>	<b>54,369,480</b>	<b>587,184</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	266.61	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	82.42	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	208.68	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	74.85%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.46%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	427.94%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	390.51%	=現金預金÷流動負債	

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 令和元年7月期 業務実績報告書（水道管理課）

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,423	121,898	121,700	122,127	198	△ 229
2 調定水量	m <sup>3</sup>	617,470	2,572,234	2,571,000	2,588,870	1,234	△ 16,636
3 調定料金(税抜)	円	166,525,416	689,674,428	687,000,000	693,030,726	2,674,428	△ 3,356,298
4 口振加入件数	件	25,116	100,646	—	100,731	—	△ 85

### 2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,819	—	79,844	△ 1,025
6 給水件数	件	30,308	—	30,296	12
7 開栓処理件数	件	246	1,187	1,059	128
8 閉栓処理件数	件	247	1,046	999	47
9 給水工事設計審査	件	79	312	317	△ 5
10 給水工事竣工検査	件	94	306	362	△ 56
11 経年メーター交換	件	822	2,746	2,209	537
12 メーター口径変更	件	9	27	19	8
13 月末停止件数	件	△ 6	107	111	△ 4

### 3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	190,051,094円	74.49%	195,452,229円	73.89%
15 過年度分	5,219,606円	97.25%	5,889,763円	96.95%
16 計	195,270,700円	—	201,341,992円	—

### 4 給水装置工事指定業者（市外 1社 廃止）

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
17	8	15	12	13	9	8	14	6	102	121	223

### 5 入札・契約

（左：当月 右：累計）

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他													
	12	13	46	48	11	12	19	21	0	0	6	6	0	0	3	3	1	1	18	18	0	0	0	0
入札件数	12	13	46	48	11	12	19	21	0	0	6	6	0	0	3	3	1	1	18	18	0	0	0	0
契約締結	一般	4	8	8	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	6	31	31	31	5	8	0	0	6	0	0	0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	随契	2	7	7	7	2	3	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	12	46	46	48	11	19	0	6	0	3	3	1	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《中止 当月 0件 / 累計 1件》 《不調 当月 1件 / 累計 2件》 《取消 当月 0件 / 累計 0件》 《未契約 0件》

### 6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内 容
竣工検査	4	1	工事
中間検査	4	1	工事
合計	8	2	

### 7 主な行事・会議

会議名	日時	内 容
部長等連絡調整会議	4日	7月 事業打合せ等
安全衛生委員会	9日	第4回 職員研修について 他
水道ブースター会議	10日	介護について（職員研修と合同）
給水拠点設置訓練	26日	7月期 石越総合支所
所内連絡会議	19日	6月期 各種経営分析等
例月出納検査	23日	6月期 例月出納検査
指名委員会	8・16日	第10回・第11回
入札	9・11・25日	1件・10件・2件
緊急メールの発信	—日	漏水 7、破損 4、取停 3、切替 1、断水 1、水質 1、訓練 1

## 特 記 事 項

### 1. 7月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は179,981千円（税込）で、前月期に比べて9,710千円の減、予算執行率33.4%（前年度33.6%）、対前年同月比（累計）では3,114千円の減となっています。営業収益は手数料収益722千円を含む180,703千円、営業外収益は事務手数料3,900千円を含む3,930千円となりました。

当期の営業費用は96,771千円を執行し、累計額は292,763千円、予算執行率（累計）11.9%（前年度11.5%）となりました。特別損失は1千円を執行しております。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、加入金972千円を執行し、累計額は6,474千円、予算執行率（累計）0.6%（前年度1.0%）となりました。

支出は、配給水施設整備費で7,076千円を執行し、累計額22,631千円、予算執行率（累計）0.9%（前年度0.8%）となりました。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,374千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 登米市上水道事業運営審議会

7月24日（水）に令和元年度第1回登米市上水道事業運営審議会を開催しました。昨年度末で前委員の任期が満了となり、今年度、新たに委員委嘱を行い、10名の委員へ渡邊副市長から委嘱状の交付を行いました。委員の皆さんには令和2年度までの2年間にわたり水道事業における課題について審議していただきます。

会長には山田一裕氏（東北工業大学教授）が選任され、渡邊副市長から諮問書が手渡されました。その後、報告として「平成30年度決算について」「上下水道事業の組織統合について」「石越地区における給水区域の変更について」の説明を行いました。



諮問書を手渡す様子

#### (2) 北上川水系流域見学会

第61回水道週間行事として7月30日（火）に北上川水系流域見学会を開催しました。今回も定員を上回る応募があり抽選で参加者を決定させていただきました。当日は42名が参加し、北上川の源流「弓弭（ゆはず）の泉」と「旧松尾鉱山新中和施設」や「松尾鉱山資料館」等の見学を行いました。中和処理施設の必要性や北上川についてのお話を聴き、登米市の水道と北上川のかかわりを学んでいただきました。



旧松尾鉱山新中和施設



弓弭の泉にて



松尾鉱山資料館

#### (3) 職員研修「介護について」

水道事業所安全衛生委員会では、毎年職員の健康・安全に関する研修会を開催しており、7月10日（水）東和・登米地域包括支援センターの鈴木管理者と及川保健師を講師に向け「介護について」をテーマに職員研修を行いました。近年増えてきている男性の介護や介護をしながらも楽しく生きるための心構え等のお話をいただきました。介護する人が心身ともに元気であることが大切であり、包括支援センターでも介護をしている家族の支援を行なっているので、一人で抱え込まずに相談して欲しいと話されていました。

# 令和元年7月期 業務実績報告書（水道施設課）

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	837,240	3,296,385	3,199,710	3,332,692	96,675	△ 36,307
総配水量	780,607	3,066,773	2,979,240	3,058,984	87,533	7,789
1 有効水量	666,875	2,773,201	2,784,750	2,788,920	△ 11,549	△ 15,719
(1) 有収水量	621,730	2,590,141	2,587,800	2,605,893	2,341	△ 15,752
(2) 無収水量	45,145	183,060	196,950	183,027	△ 13,890	33
2 無効水量	113,732	293,572	194,490	270,064	99,082	23,508
(1) 漏水量	113,567	292,786	192,000	268,407	100,786	24,379
(2) その他無効水量	165	786	2,490	1,657	△ 1,704	△ 871
3 有収率	79.65%	84.46%	86.86%	85.19%	-2.40%	-0.73%

※ 当月期の最大配水量は、31日（水）に記録した【28,163m³】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施 工 中 (B)		竣 工 (C)		残 額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059					66,059	0.00%
ウ 浄水施設整備事業	11	105,721	2	15,304			90,417	14.48%
オ 配給水施設整備事業	76	1,309,798	23	181,814	4	22,631	1,105,353	15.61%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

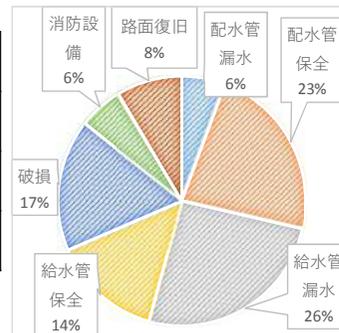
#### ◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F 1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.80	0.39	0.43	0.55	0.46
最高	0.84	0.55	1.10	0.60	0.66
最低	0.78	0.15	0.10	0.50	0.20

#### ◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施設	路面 復旧	その他	計
月計	2	8	9	5	6	2	0	3	0	35
累計	15	28	31	14	11	9	0	14	0	122
前年同 月累計	35	50	37	9	7	7	5	14	0	164



## 特 記 事 項

### 1. 保呂羽浄水場見学について

7月2日(火)、南方小学校4年生が社会科学の一環で、保呂羽浄水場の見学を行いました。

児童は浄水施設等管理運転業務受託者の職員から保呂羽浄水場の各施設の説明を熱心に聞き、積極的に質問を行っていました。浄水場見学者数は、7月に小学校3校、計71名の方々が施設見学に来場し、7月末までに小学校20校、児童・引率数併せて475名の方が来場しています。(前年度の実績 20校 509名)

今後も、将来を担う子供たちや地域住民の皆様へ、水の大切さや水道の仕組みと重要性などを理解して頂くため、浄水場施設の公開を行ってまいります。



浄水場を見学している様子

### 2. 技術講習会について

7月2日(火)に登米市管工事業協同組合駐車場等において、登米市管工事業協同組合が主催した技術講習会が開催され、職員及び登米市管工事業協同組合の組合員など約30名が参加しました。

今回の講習会は、ダクタイル鋳鉄管接合やフランジ補強金具等について知識及び技術の向上を図るため開催したものです。

新しく配属となった職員からは、管の接合の仕方や解体作業について実際に見ることができ、大変参考になったとのことでした。

水道事業所では、水道技術のレベルが向上するよう、今後も研修等に参加し人材の育成を行い、安全で信頼される水道づくりを目指してまいります。



ダクタイル鋳鉄管の接合をしている様子

### 3. 総務企画常任委員会で現地視察等を実施

7月26日(金)に総務企画常任委員会の現地視察等が行われました。東日本大震災で特に大きな被害を受けた迫川西部地区の配水拠点として整備を行った新田配水池や今後再構築を予定している保呂羽浄水場について施設の説明を行いました。

委員の皆さんは職員の説明に熱心に耳を傾けられていました。

また、午後からは水道施設の状況や保呂羽浄水場再構築等について説明を行いました。委員の皆さんからは資産管理の状況についてなど活発な意見を頂きました。



各浄水場の状況を説明している様子

### 4. 令和元年7月の漏水調査結果について

有収率向上対策のため、漏水調査を実施しています。7月末の漏水調査の結果は、8件3.135m³/h(累計)の漏水を発見しました。7月末での有収率は84.46%となっています。継続的に漏水調査を実施しながら、老朽管の更新工事を進め、令和元年度末で、計画有収率87.0%を目指します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	1	1.800
	付属施設	0	0.000
	給水管	7	1.335
	計	8	3.135